

第10回すきつと保健師

PCやスマホから、全国どこからでも
お気軽にご参加ください♥

【テーマ】

Zoom オンライン開催

お伝えします！
地域の強みを高める保健師ワザ



参加申込用
QRコード

【とき】2020.11.21 sat 10-12 Zoom

【プログラム】

- ごあいさつ
- ワザの概要をご説明します！ 岡本玲子
- 事例からワザを実感しよう！ 院生
- グループに分かれておしゃべりタイム！
- みんなで共有タイム！

「地域の強みを高める
公衆衛生看護技術」
出版記念！

参加申込方法

- 案内メールにお示したフォーム又は、左のQRコードから11/16の13時までにお申し込みください。
- お申込みいただいた方にメールで当日のZoomのURLをお知らせします。

“すきつと保健師”のコンセプト

- ＊コミュニティの人々が大好き！という保健師が、主体的に学び、相互に支え合う、学び合いの場を提供します（好き人=すきつと）
- ＊保健師のCPDとキャリア開発のために、みんなでもっと楽しくSkills Training する場を提供します（Skills Training=すきつと）
- ＊自身のReflectionを通して、保健師としての自信と誇りを育み、互いに成長を確認し合い、スキッとすることをめざします（スキッと!）

次回以降の開催について（オンラインZoomで開催）
定例は2・5・8・11月の第3土です。諸事情により変更する場合があります。
2021年2月20日(土)10-12



主催：大阪大学公衆衛生看護学教室（教授：岡本玲子、准教授：蔭山正子、助教：田中美帆） 事務局（大阪大学公衆衛生看護学教室）：office.reiko@sahs.med.osaka-u.ac.jp
協力：公衆衛生看護技術開発研究会（上記+岩本里織/神戸市看護大学、塩見美紗/京都大学、小出恵子/四天王寺大学、草野恵美子/大阪医科大学、合田加代子・髙英代/甲南女子大学）

『すきつと保健師』のご案内（保健師が集い学ぶ場です）（お名刺やメールをいただいた方に配信しています）

紅葉の候、みなさまにおかれましては、withコロナ時代にますますご活躍のこととお慶び申し上げます。
本日は、オンライン開催『すきつと保健師』のご案内をさせていただきます。

今回のテーマは【お伝えします！地域の強みを高める保健師ワザ】です。
このたび保健師のワザをまとめた「地域の強みを高める公衆衛生看護技術」という本を出版しました。
11月のすきつとは、その本からワザの概要と、活動展開事例にみる保健師のスゴワザをご紹介します。
後半はグループにわかれて感想を出し合い、各々の実践への活かし方を考えてみたいと思います。

全国どこからでもZoomにつないでご参加いただけます。
下記「フォームに記入する」をクリックし、11月16日（月）13時までにお申し込みください。またこの案内の拡散もぜひお願いします！
お申込みをいただいた方に、当日のZoomについて19日（木）までにお知らせします（URLなど）。
前回ご参加の方は、前回と同じURLです。

第10回 すきっと保健師

テーマ: お伝えします!地域の強みをもめる保健師ワザ

内容: ■ごあいさつ

■ワザの概要をご説明します! 岡本玲子(大阪大学)

■事例からワザを実感しよう! 公衆衛生看護学教室院生

■グループに分かれておしゃべりタイム!

■みんなで共有タイム!

主催: 公衆衛生看護学教室一同(岡本玲子、蔭山正子、田中美帆、院生)

日時: 2020年11月21日(土) 10:00~12:00

開催方法: Zoomにてオンライン開催

ネットにつながるPCまたはスマホをご準備ください。

参加申し込み後に事務局からお知らせする方法でURLにアクセスしてください。

お問合せ先: 公衆衛生看護学教室

office.reiko@sahs.med.osaka-u.ac.jp



すきっと保健師

日々、ご奮闘されている
みなさまへ

岡本玲子からご挨拶

まずは、保健師になってくれてありがとう。(なろうとしてくれて、ありがとう。)

“すきっと保健師”のコンセプト

- ✿ コミュニティの人々が大好き！という保健師が、主体的に学び、相互に支え合う、学び合いの場を提供します **(好き人 = すきっと)**
- ✿ 保健師のCPDとキャリア開発のために、みんなでともに楽しくSkills Training する場を提供します **(Skills Training = すきっと)**
- ✿ 自身のReflectionを通して、保健師としての自信と誇りを育み、互いに成長を確認し合い、スキッとすることをめざします **(スキッと!)**



主催：大阪大学公衆衛生看護学教室（教授：岡本玲子、准教授：蔭山正子、助教：田中美帆）

協力：公衆衛生看護技術開発研究会（上記 + 岩本里織 / 神戸市看護大学、塩見美紗 / 京都大学、小出恵子 / 四天王寺大学、草野恵美子 / 大阪医科大学、合田加代子・髙英代 / 甲南女子大学）

3

ワザの概要をご説明します！



保健師が高めたい**地域の強み**とは

公衆衛生看護の**ワザ**枠組み

地域の強みを高める**ワザ**概説

すきっと

テーマ お伝えします！ 地域の強みを高める保健師ワザ

【流れのイメージ】

司会(院生1名):5分 開始の宣言とアイスブレイキング(前回からのつなぎとして「要点押さえ」と「参加者の声」など・拍手とか全員参加やりとり入れる)

主催者挨拶(岡本):5分

ワザ概要解説(岡本):20分 添付のⅠ部-1・2章(事例の聴き方も説明)

事例1(院生2名):35分(うち5分は質疑応答・呼び水&GWつなぎとなるフロア発言仕込んでどうか、ブレイクアウトセッションで話し合うことの押さえも)

イメージとしては Ⅱ部事例1 朗読する人と、要所要所でワザを解説する人、でつくって

<5分休憩 グループ分け作業(岡本と院生1名:事例の時間も使って15分かかる)>

ブレイクアウトセッション:30分、アンケートから交流を望む声が多かったので、GWは30分はとってはと思います。共有・まとめと合わせて45分くらいでしょうか。

共有・まとめ(岡本+蔭山先生も・院生もひとこと):20分、発表とフィードバック、田川さんの卒論に事例1を使っているの少し話してもらってはどうか。

終了後30分開放

文献

1. 岡本玲子編著：地域の強みを高める公衆衛生看護技術ーポジティブヘルス推進へのワザトレー。医歯薬出版，2020
2. 岡本玲子・他：公衆衛生看護が関わる地域の強みとはー文献の分析による概念化ー。日本公衆衛生看護学会誌，8(1)：12-22，2019. DOI： https://doi.org/10.15078/jjphn.8.1_12
3. Okamoto, R. et al. : Public Health Nursing Art to Enhance “Strength of Community” in Japan. The Open Nursing Journal, 13(1):177 - 185, 2019. DOI : <https://doi.org/10.2174/1874434601913010177>
4. Okamoto, R. et al. : Effectiveness of simulation learning program for mastering public health nursing skills to enhance strength of community: A quasi-experimental design. Nurse Education Today, 90 104432–104432, 2020. DOI : <https://doi.org/10.1016/j.nedt.2020.104432>
5. 岡本 玲子：目指すのは公衆衛生看護技術の具体的イメージ化とグローバル化。日本公衆衛生看護学会誌，8(1):1-2，2019.

地域の強みを高める公衆衛生看護技術

ワザの概要をご説明します！



保健師が高めたい**地域の強み**とは



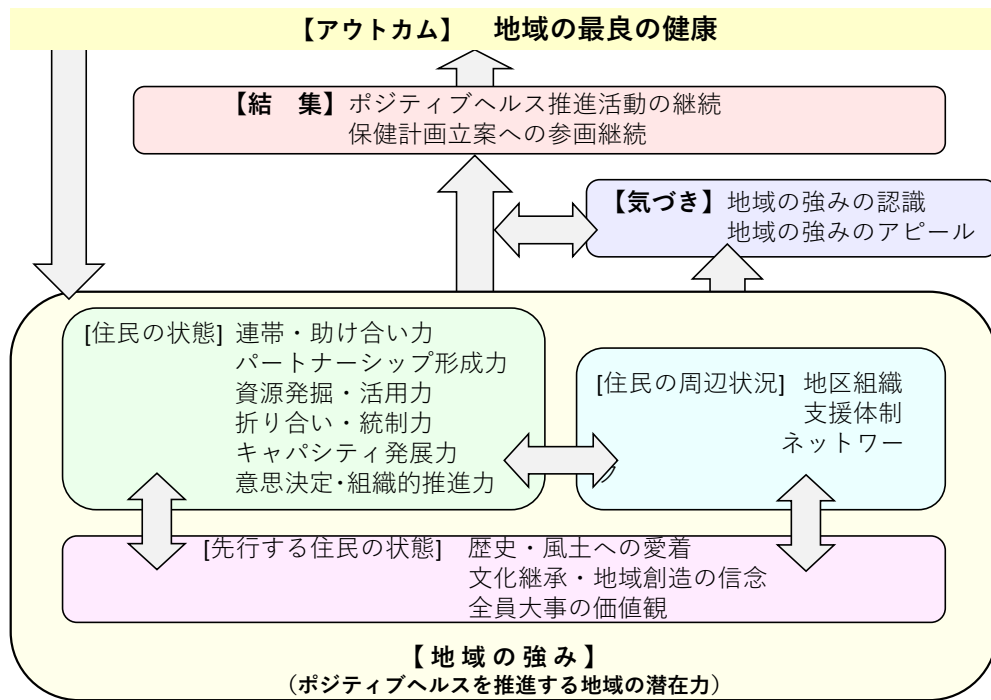
公衆衛生看護の**ワザ**枠組み



地域の強みを高める**ワザ**概説

保健師が高めたい地域の強みとは

公衆衛生看護が関わる地域の強みの構造 = 地域の最良の健康というアウトカムに向けてポジティブヘルスを推進する地域の潜在力



7

JAPHN 8(1)掲載

保健師が高める(着目する、高めたい)地域の強み

地域の強みを高める公衆衛生看護技術

ワザの概要をご説明します！



保健師が高めたい**地域の強み**とは



公衆衛生看護の**ワザ**枠組み



地域の強みを高める**ワザ**概説

公衆衛生看護のワザ枠組み ヘルスプロモーション&公衆衛生看護の定義より

活動の規範 — 社会的公正

対象	あらゆるライフステージ・すべての健康レベルの人々 個人・家族・コミュニティ(集団・組織・地域)	
目的	人々の能力の向上	環境の改善 (坂道を緩やかに)
戦略	個人技術の開発・地域活動の強化	健康的な公共政策づくり・健康を支援する環境づくり
	保健サービスの方向転換 (「酒気」を治す → 「健康」をつくる, 「病院」中心 → 「家族・地域社会」中心, 「専門家」中心 → 「素人」中心)	

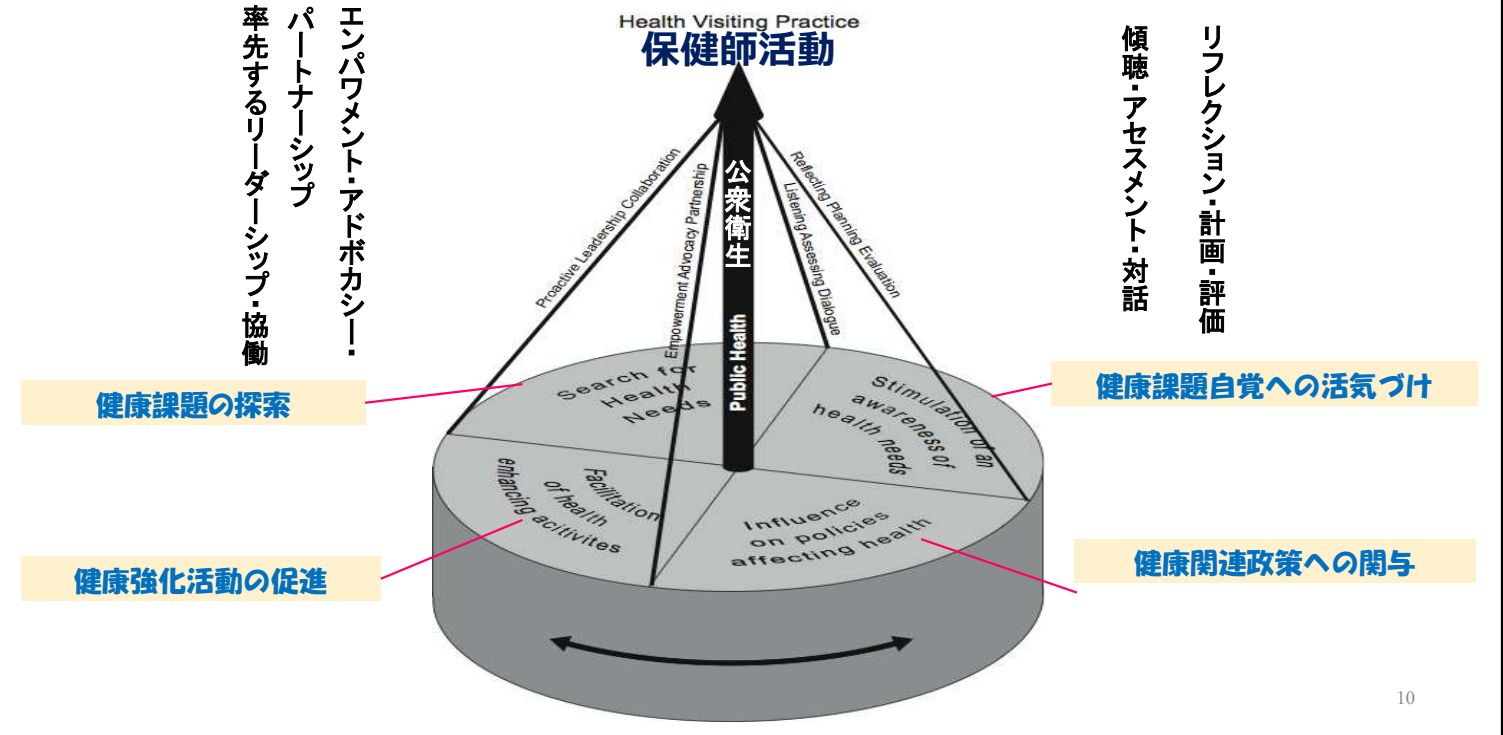


- 1.健康的な公共政策づくり
- 2.健康を支援する環境づくり
- 3.地域活動の強化
- 4.個人的技術の開発
- 5.保健サービスの方向転換

《公衆衛生看護の定義》公衆衛生看護の対象は、あらゆるライフステージにある、すべての健康レベルの個人と家族、及びその人々が生活し活動する集団、組織、地域などのコミュニティである。公衆衛生看護の目的は、自らの健康やQOLを維持・改善する能力の向上及び対象を取り巻く環境の改善を支援することにより、健康の保持増進、健康障害の予防と回復を促進し、もって人々の生命の延伸、社会の安寧に寄与することである。公衆衛生看護は、これらの目的を達成するために、社会的公正を活動の規範におき、系統的な情報収集と分析により明確化若しくは予測した、個人や家族の健康課題とコミュニティの健康課題を連動させながら、対象の生活に視点をおいた支援を行う。さらに、対象とするコミュニティや関係機関と協働し、社会資源の創造と組織化を行うことにより対象の健康を支えるシステムを創生する。

《公衆衛生看護学の定義》公衆衛生看護学とは、公衆衛生看護実践の向上に寄与する知識、技術、規範並びに理論の生成やその発展について考究する学問である。

《保健師の定義》保健師とは、国家資格である保健師の名称を用いて公衆衛生看護の目的を達成しようとする者をいう。



健康課題の探索 The search for health needs、健康課題自覚への活気づけ The stimulation of an awareness of health needs、健康強化活動の促進 The facilitation of health-enhancing activities、健康関連政策への関与 The influence on policies affecting health

●英国 ヘルスビジティングの原則

Principles of Health Visitors

保健師は公衆衛生の向上、より健康な方向を目指して、対人間、対環境に働きかける専門職です。ヘルスビジターは19世紀末から全国に広がる

公衆衛生看護のワザ枠組み 米国:公衆衛生看護実践の活動の輪より

The Intervention Wheel: The “how” of public health nursing practice

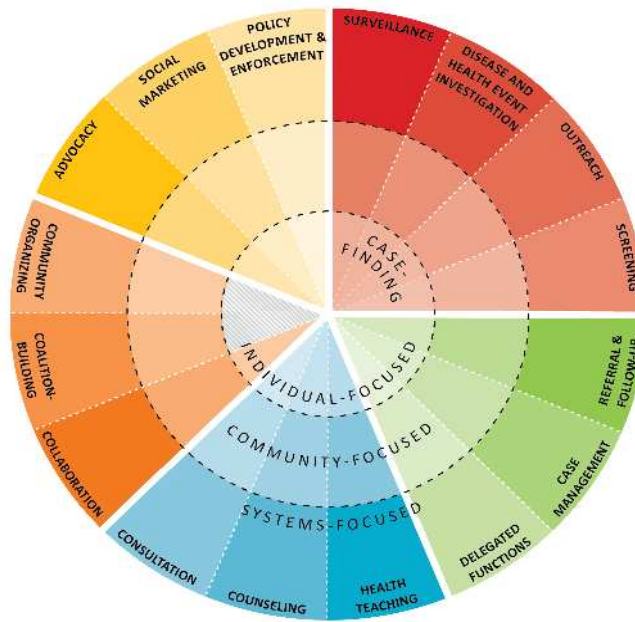
すべて
【ポピュレーションベースの
公衆衛生介入】

ホイールの内側
【3つの公衆衛生実践レベル】

個別フォーカス

地域フォーカス

システムフォーカス



ホイールの周辺
【17の公衆衛生介入】

(ケース発見)

- ・サーベイランス
- ・疾病・健康調査
- ・アウトリーチ
- ・スクリーニング

- ・紹介・フォローアップ
- ・ケースマネジメント
- ・受託業務・委任事務

- ・健康教育
- ・カウンセリング
- ・コンサルテーション

- ・協働
- ・連携構築
- ・地区組織化

- ・アドボカシー
- ・ソーシャルマーケティング
- ・施策化・施行

Public Health Interventions Applications for Public Health Nursing Practice (2nded. 2019) 11
Minnesota Department of Health Division of Community Health Services Public Health Nursing Section

Public health interventions: Applications for public health nursing practice Second edition

Marjorie Schaffer, PhD, RN, PHN

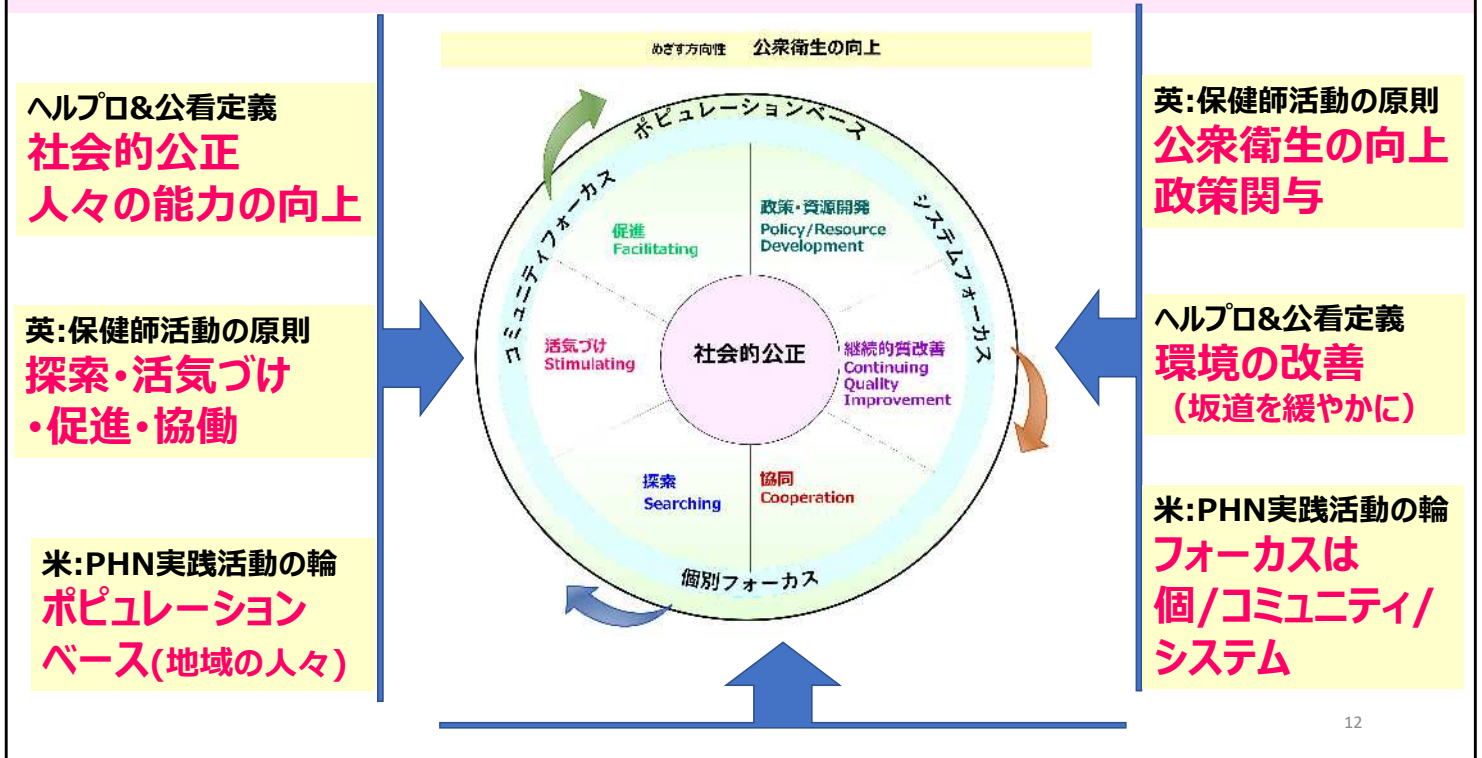
Susan Strohschein, DNP, RN, PHN (retired)

Suggested citation: Minnesota Department of Health. (2019). Public health interventions: Applications for public health nursing practice (2nd ed.).

Minnesota Department of Health Community Health Division PO Box 64975 St. Paul, MN 55164-0975 651-201-3880health.ophp@state.mn.uswww.health.state.mn.us

To obtain this information in a different format, call: 651-201-3880.

公衆衛生看護のワザ枠組みは世界の主要理論の統合体！



科研で4年かけて精錬してきた枠組み。保健師実践において必ず現出する技術であることを確認済み
 協同・継続的質改善以外は英国の枠組みと一致。協同はミネソタにはあり。継続的質改善は日本の行政保健師の特徴。
 ポピュレーションベースであること、焦点の当て方(個別・コミュニティ・システム)はミネソタと一致。
 地球と同じく左回り自転しつつ、目標に向かい様々な要素を駆使して活動を展開するイメージ。

1. ワザ枠組みは公衆衛生看護の技術枠組みに活用可(16事例で検証済み) 2. 大ワザ小ワザは目的によって異なる(例えば虐待個別だと活気づけの下にケアマネジメントが入るなど)
3. 説明: 円の中の6つが、地域の強みを高める公衆衛生看護技術のコアと大ワザ、真ん中は公衆衛生看護の規範: 社会的公正)である。
4. それらはポピュレーションベースに展開されるものである。
5. 螺旋矢印は展開過程を表す。いろいろなワザは多様かつ複雑に融合しながらめざすアウトカムに向かって展開する(行きつ戻りつもある)。
6. 展開過程におけるフォーカス(外枠)は、その時々により個別/コミュニティ/システムのいずれか、あるいはいくつかに当たっている。

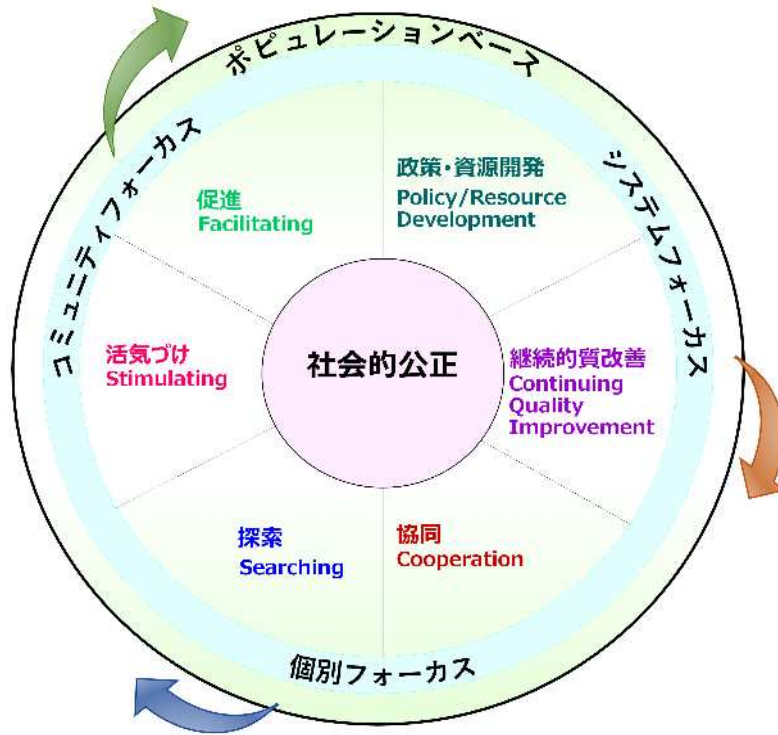
“Strength of Community (SC)” enhanced by public health nursing, that is, the “Potentials of the community promoting positive health”

文献

Okamoto, R. et al.: Public Health Nursing Art to Enhance “Strength of Community” in Japan. The Open Nursing Journal, 13(1):177-185, 2019. DOI: 10.2174 / 1874434601913010177

公衆衛生看護 のワザ枠組み

めざす方向性 公衆衛生の向上



ワザの概要をご説明します！



保健師が高めたい**地域の強み**とは



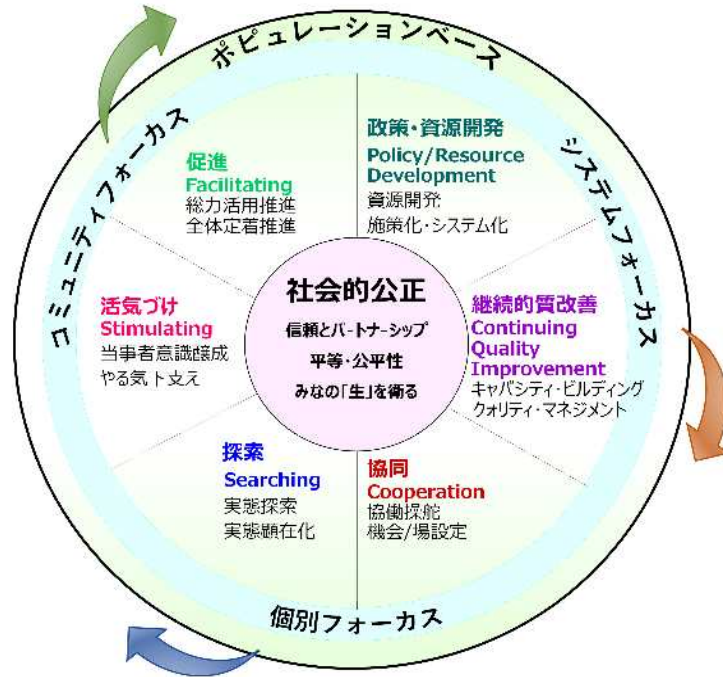
公衆衛生看護の**ワザ**枠組み



地域の強みを高める**ワザ**概説

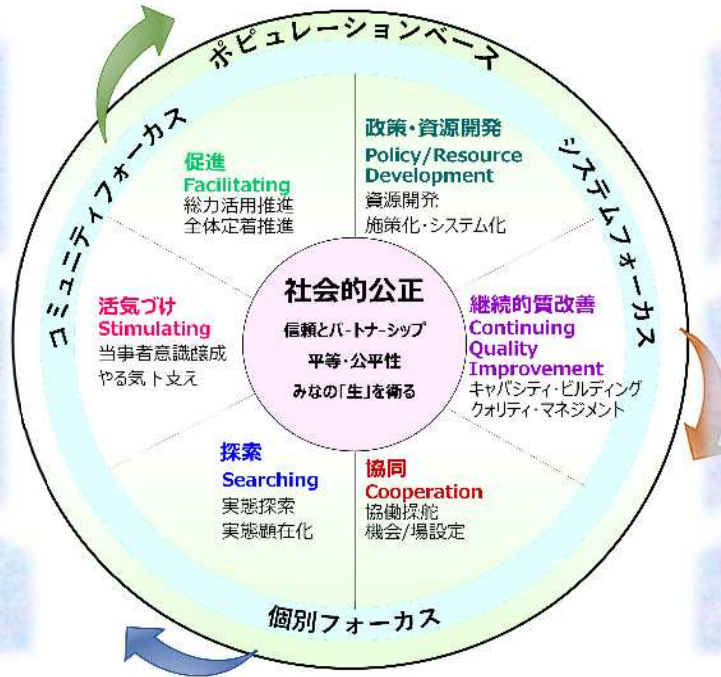
公衆衛生看護のワザ枠組みで整理した **地域の強みを高める公衆衛生看護技術**

めざす方向性 **ポピュレーションの最良のポジティブヘルス状態（公衆衛生の向上）**



公衆衛生看護のワザ枠組みで整理した **地域の強みを高める公衆衛生看護技術**

めざす方向性 ポピュレーションの最良のポジティブヘルス状態（公衆衛生の向上）



人々を
Positive
Healthへ
動かす

人々と
環境を
みる

規 範
(前提となること)

坂道を
緩やかな方へ
動かす

人々・
資源を
つなぐ

規 範
(前提となること)

規 範 (前提となること)	社会的公正	信頼とパートナーシップ
		平等・公平性
		みな「生」を衛る

	枠組み	大ワザ	中ワザ
<p>人々と環境をみる</p> <p>人々を Positive Healthへ動かす</p>	探索	実態探索	強み発掘
			課題把握
			資源探索
		実態顕在化	見える化
	実在見せ		
	活気づけ	当事者意識醸成	ワレラゴト（我ら事）共有
みなで/ともに/楽しく浸透			
やる気下支え		発起アシスト	
		元気バックアップ	
促進	総力活用推進	担い手拡充	
		相互寄与見せ	
	全体定着推進	地域普及	
		主導化応援	

人々・
資源を
つなぐ

坂道を
緩やかな
方へ
動かす

枠組み	大ワザ	中ワザ
協同	協働操舵	成長系協働 発展系調整
	機会/場設定	ポジティブヘルス転換 実現固め
継続的質改善	キャパシティ・ビルディング	キーパーソン開化 成解合作
	クオリティ・マネジメント	全体質点検 ボトムアップ改善
政策・資源開発	資源開発	資源化 活用促進
	施策化・システム化	優先度明示 決定・構築・整備

次の開催について 2021年2月20日(土) 10~12時



また来てね♡

待ってるから☆彡

* ご意見、ご感想などお気軽にメールください reiko@sahs.med.osaka-u.ac.jp²⁰